

霧島山

● 新燃岳

○ 火山活動度レベル

レベル 1 (静穏な火山活動)

○ 概況

火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。

・噴気の状態

火口縁を超える噴気は観測されませんでした。

・地震・微動活動の状況(表 1、図 1、図 4)

火山性地震の月合計は 16 回で、そのうち 11 日に 11 回発生しました。11 日 18 時 25 分に振幅の大きな地震が発生しました。火山性微動は観測されませんでした。

表 1 最近 1 年間の新燃岳付近を震源とする地震・微動回数(2005 年 10 月～2006 年 9 月)

2005～2006 年	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
地震回数	5	6	2	181	275	210	53	37	18	9	3	16
微動回数	0	0	0	1	7	0	0	0	0	0	0	0

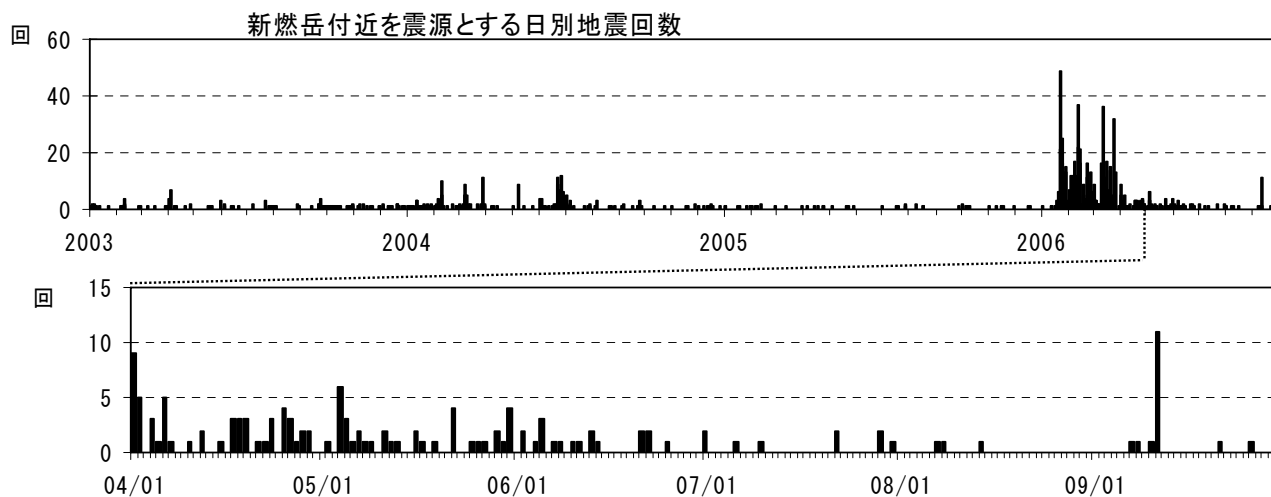


図 1 新燃岳付近の火山活動経過図(2003 年 1 月～2006 年 9 月)

- 11 日に振幅の大きな火山性地震が発生しました。
- 火山性地震の月合計は 16 回で、そのうち 11 日に 11 回発生しました。

この資料は気象庁の他、東京大学、鹿児島大学、独立行政法人防災科学技術研究所のデータ等を利用して作成しています。また、地図の作成に当たっては、国土地理院の承認を得て、同院発行の数値地図 50mメッシュ(標高)、25000 分の 1 の地形図を使用しています(承認番号: 平 17 総使、第 503 号)。

● 御鉢

○ 火山活動度レベル

レベル 1 (静穏な火山活動)

○ 概況

火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。

・噴気の状況(図3の①)

監視カメラでは、火口縁を超える噴気は観測されませんでした。

・地震・微動活動の状況(表2、図3、図4)

火山性地震は少なく、静穏に経過しました。火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況(図5)

GPS連続観測による地殻変動観測では、長期的には高千穂峰や中岳がわずかに南東に動く傾向が観測されています。

表2 御鉢付近を震源とする最近1年間の地震・微動回数(2005年10月~2006年9月)

2005~2006年	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
地震回数	0	1	1	3	5	3	4	8	16	16	8	7
微動回数	1	0	0	10	10	6	2	2	3	0	0	0

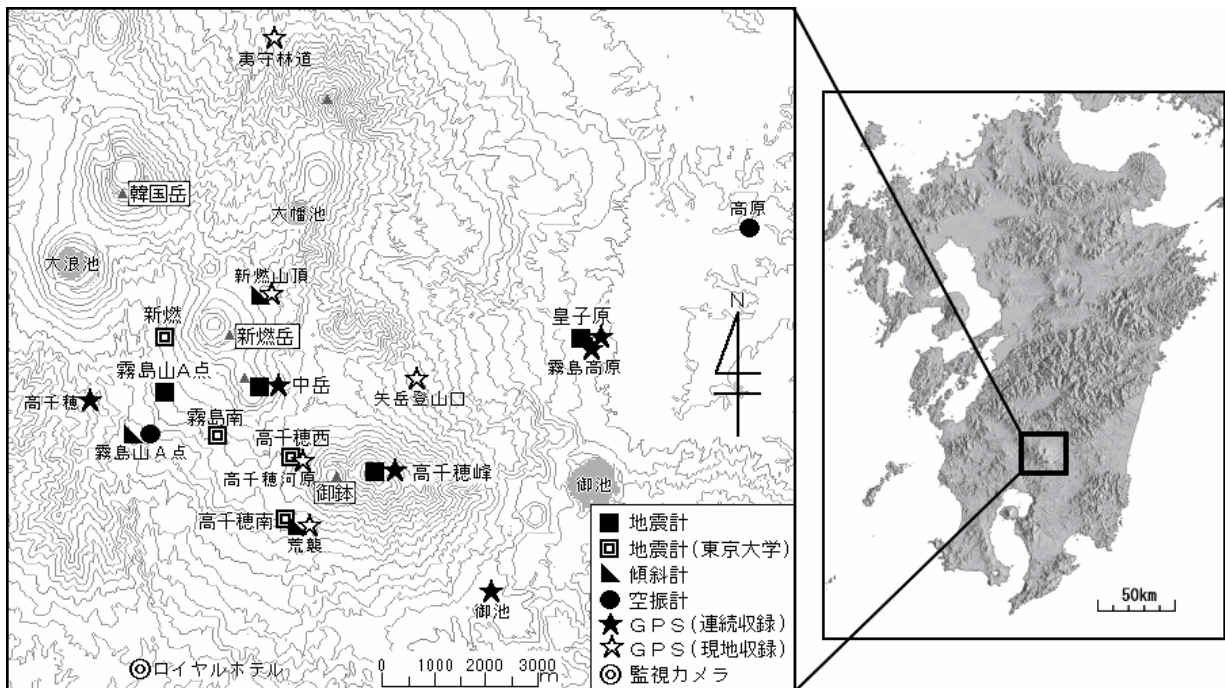


図2 霧島山広域観測点位置図(気象庁監視)

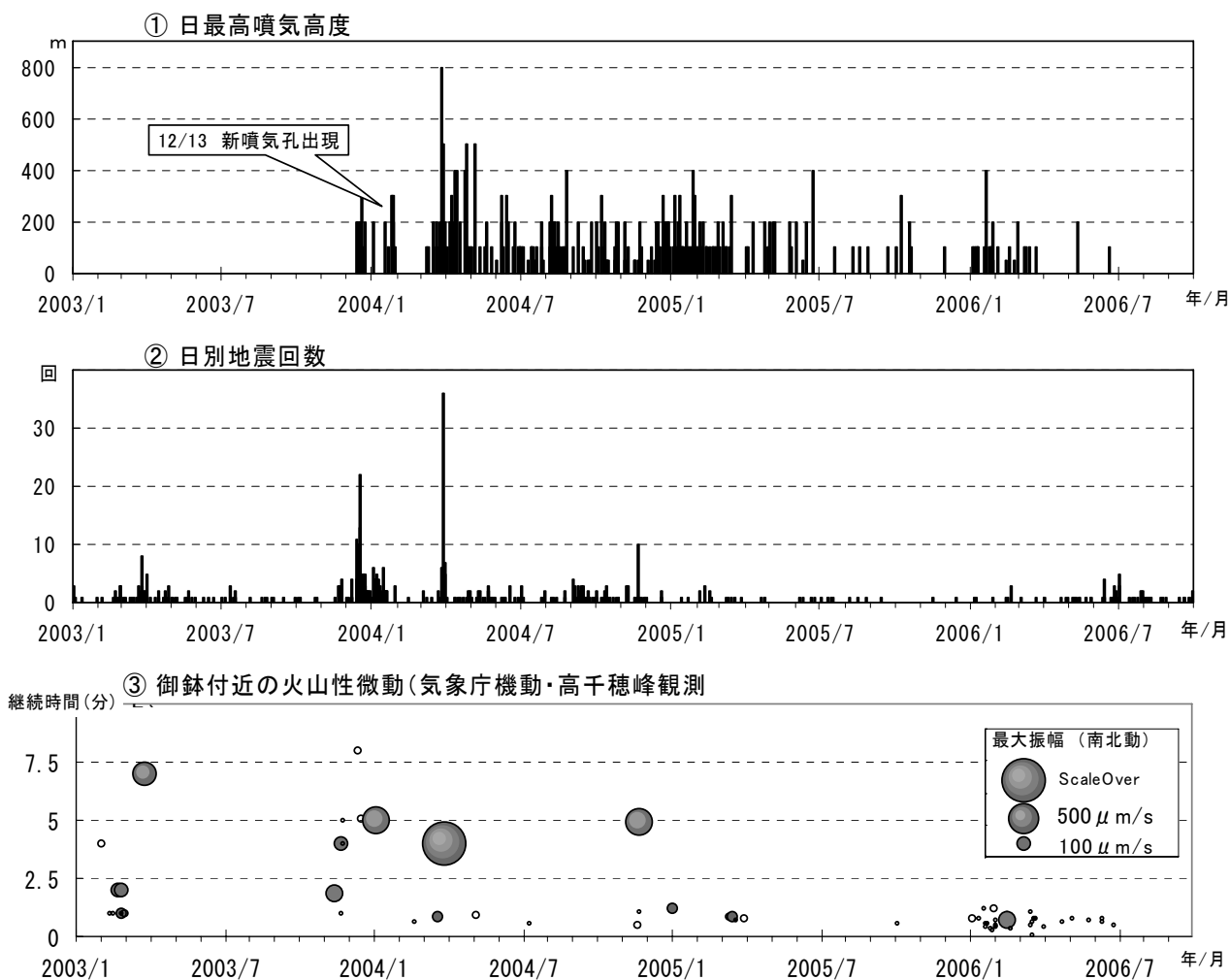


図3 御鉢付近の火山活動経過図(2003年1月~2006年9月)

- 監視カメラでは、火口縁を超える噴気は観測されませんでした。
- 火山性地震は少なく、静穏に経過しています。
- 火山性微動は観測されませんでした。

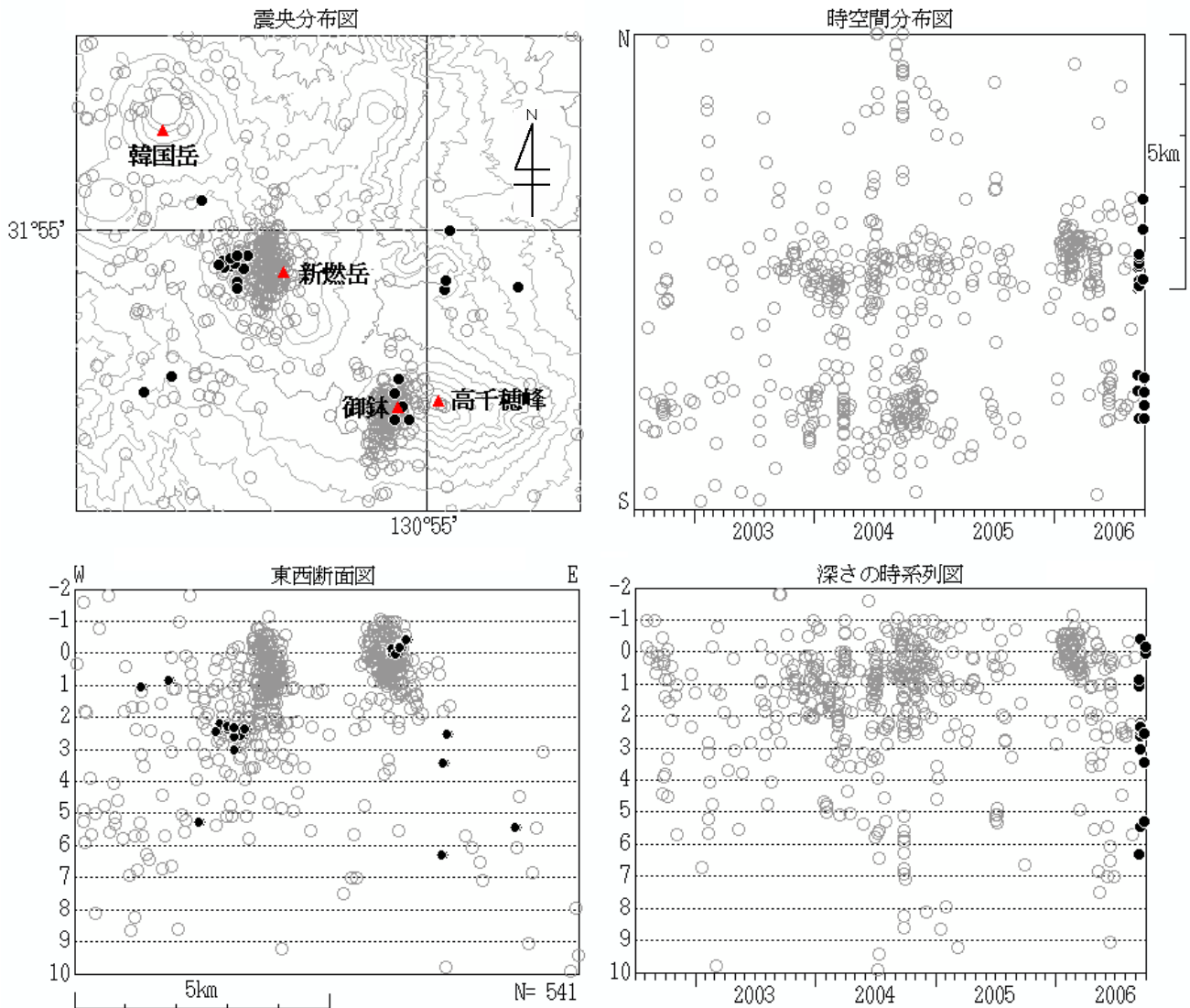


図 4 震源分布図(2002 年 7 月～2006 年 9 月)

■ 9月に求まった震源は23個で、そのうち新燃岳火口の西約1kmの深さ2～3kmに11個、御鉢火口直下のごく浅いところに5個求まりました。

※ 今期間の震源は黒丸で表示しています。

※ 本資料は、気象庁データの外、東京大学、鹿児島大学、独立行政法人防災科学技術研究所のデータを用いて作成しています。本資料の地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50mメッシュ(標高)を利用しています。

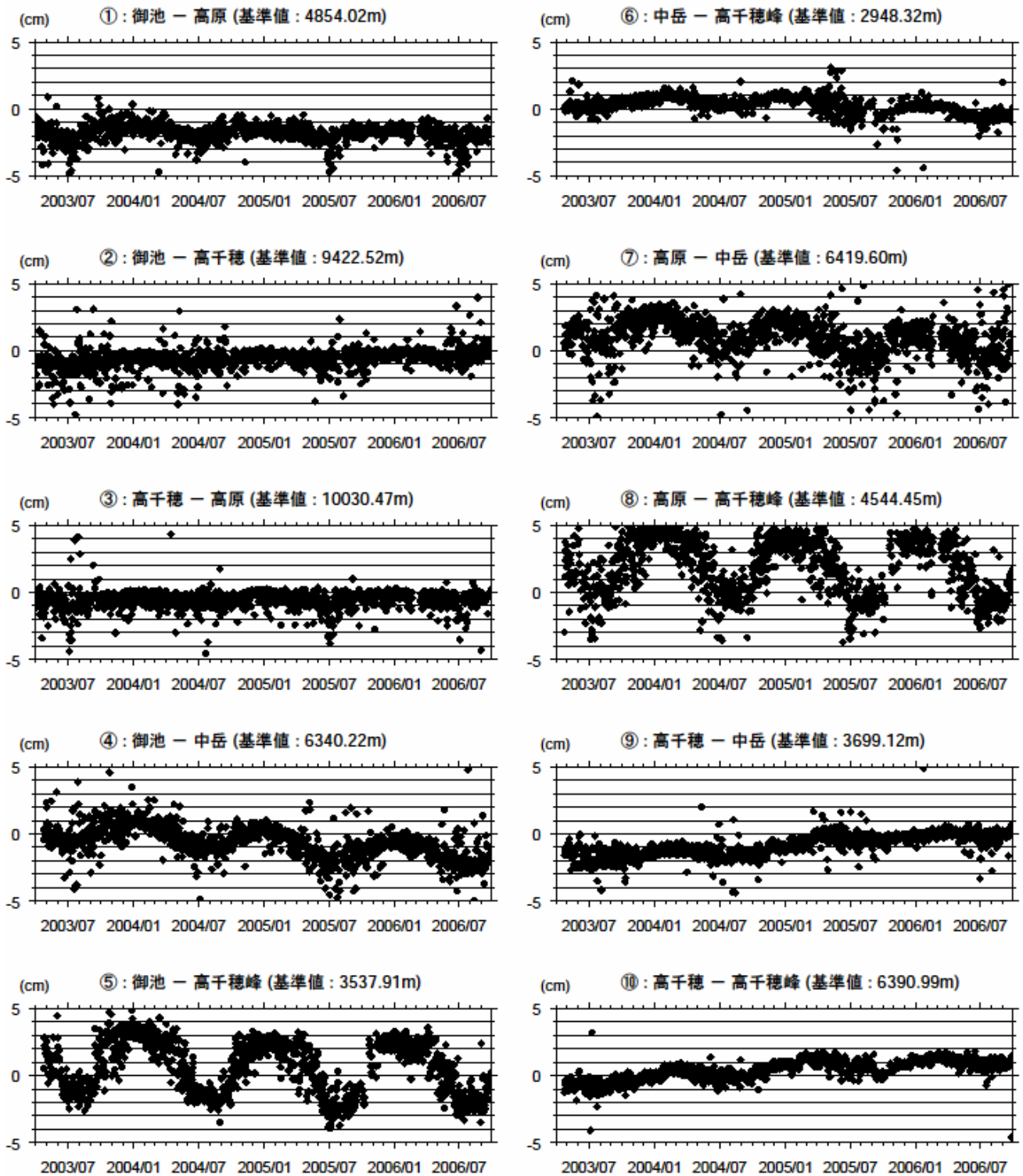


図5 GPSによる基線長変化(2003年4月~2006年9月)

※基線長変化グラフの空白部分は欠測

■ 長期的には、中岳や高千穂峰がわずかに南東に動く傾向が観測されています。

※ 短期の大きな変動は季節変化によるものです。これは観測点間の標高差が大きいほど顕著に現れます。

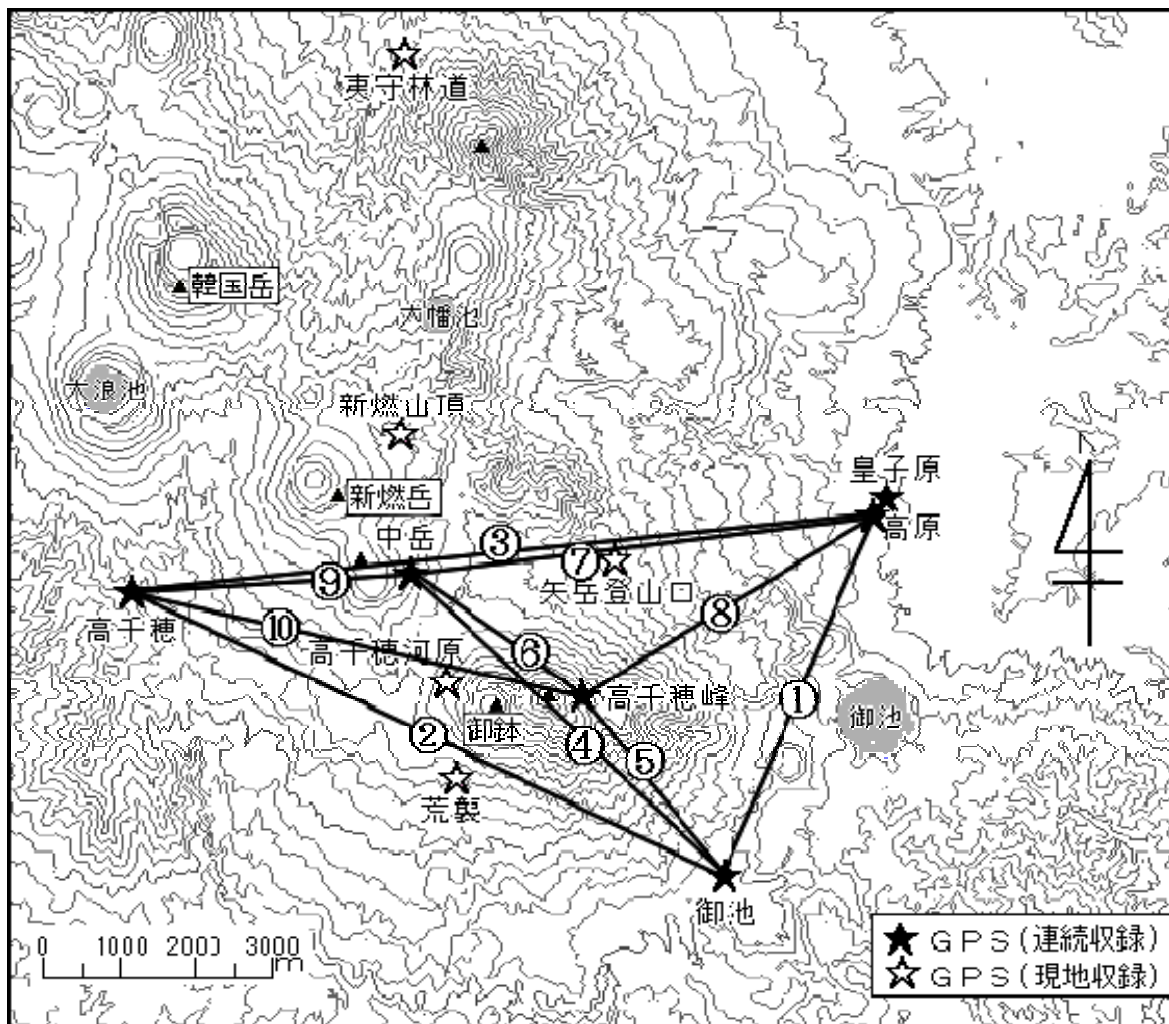


図6 霧島山のGPS連続観測基線図